

**製品名: ラミン A/C マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03873**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 74 kDa; Observed MW: 74 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LMNA
別名	LMNA; LMN1; Prelamin-A/C
遺伝子 ID	4000
SwissProt ID	P02545
免疫原	ヒトラミン A/C の合成ペプチド

**背景**

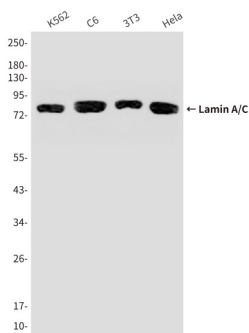
ラミンは、核膜の核質側にある繊維状の層である核ラミナの構成要素であり、核膜の骨格を形成し、クロマチンと相互作用すると考えられています。哺乳類のラミナには、ラミン A とラミン C が同量存在します。ラミン A とラミン C は、核の組み立て、クロマチン

の組織化、核膜およびテロメアの動態において重要な役割を果たします。プレラミン A/C は平滑筋細胞の老化を促進する可能性があります。プレラミン A/C は血管平滑筋細胞 (VSMC) の有糸分裂を阻害し、DNA 損傷を誘導することで、有糸分裂不全、ゲノム不安定性、および早期老化を引き起こします。

## 研究分野

タグとセルマーカー

## 画像データ



ラミン A 抗体を使用した K562、C6、3T3、および HeLa 溶解物中のラミン A のウェスタンブロット分析。